

響け念仏 北の大地に 本願寺帯広別院だより

2023
(令和5)年
9月号



〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL: 0155 (23) 3720
FAX: 0155 (21) 4989 発行人: 輪番・仲尾信博

別院ホームページ
http://www.betsuin.jp/→

帯広別院
SDGs



実践運動の
とうもろこし
お渡し、
今年の本堂で

おそろかななかで結婚式

7月16日(日)、帯広別院本堂において結婚式が執り行われました。
新郎は氏家諒さん、新婦は長谷川仁美さん。お二人は、ご両親をはじめ多くの方の支えやお育てに感謝するとともに、今後は二人で、嬉しいときも悲しいときも仏さまのような慈悲の心を持ち、互いに敬い、助けあう生活をおくる決意を、仏さまにご報告されました。



「誓いの言葉」を読みあげる諒さんと仁美さん

本堂建物補修工事

本堂は正面入り口封鎖中のため、事務所側からお入りください
本堂の屋根や壁全体を塗り替える補修工事がいよいよ始まりました。7月末に始まった仮設足場の設置は8月末に完了しました。これによって、本堂正面入り口が閉鎖されたため、本堂には照真閣(事務所)から出入



りしていただくこととなります。
秋の彼岸会をはじめ、11月中旬までご不便をおかけしますが、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。



仮設足場に囲まれた本堂



自他ともにたい人我兼利

日日は好日

日々生きていくと、嬉しいことだけでなく、悲しいことってたくさんないですか？ そんな時こそ、いま一度立ち止まり、心を落ち着けてみるのも、時には必要なのではないでしょうか。◆床の間に「日日は好日」のお掛け軸が飾られているのをよくお見かけします。「日日は好日」は文字通りよむと、一日一日が素晴らしい日ということ、禅語のひとつです。◆阿弥陀さまは、良いこと・悪いことという分別などはないと教えてくださいました。どんな日でもいねいに生きることが大事ではなからうかと思えます。ありがたく迎えられた今、ありがたくお念仏を申させていたきたいものです。(渡邊)

西本願寺では、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献することを目的として、2012(平成24)年度から「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を推進しています。
帯広別院ではこれに基づいて、「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace」―子どもたちを育むために―」を実践目標に掲げています。
今年8月26日(土)に本堂で、農家のご門徒さんが育てられた朝採れの新鮮なとうもろこしを配布しました。昨年までの3年間は、市内3か所にある竜谷保育園児童保育センターの児童たちに配布していました。今年はお参りの方や地域の方に喜んでいただけるようにと、仏教婦人会や仏教壮年会が中心となって実践をしました。
帯広別院はこれからも、地域に根ざしたお寺として、子どもたちの笑顔のために取り組んでまいります。

9月のご案内

月例布教 1日～3日13時半(本堂)
宗祖月忌法要(農朝併修) 15日・16日 6時半(本堂)
秋季彼岸会 20日～23日13時(本堂)

10月のご案内

月例布教 1日～3日13時半(本堂)
秋季永代経法要 14日～16日13時(本堂)

盂蘭盆会 今年も多くのご参拝

8月15日(火)、盂蘭盆会法要並びに全戦没者追悼法要をお勤めしました。今年は11日(金)が「山の日」の祝日となり、ご法要までの5日間になくさんのお参りをいただきました。期間中2日間は、キッチンカーによるスイーツの販売もありました。ご参拝の方からは、「昨年のお盆はコロナの影響でみんなが集まらず、私一人でお参りしました。今年は何年かぶりにみんなで参りできて、とても嬉しいです」帯広も今年は猛暑が続きましたが、お盆は暑すぎず、穏やかにお参りすることができて良かったです。「今年は孫が生まれます。来年



のお盆には一緒に参りできるのが、今から楽しみです」と、たくさん笑顔あふれる声が聞かれました。

西別院・電信通ほんおどり盛況

8月6日(日)午後3時、くもり空が気になるなか、第48回「西別院・電信通ほんおどり」が開会されました。賑やかに、発表会、音楽ライブ、子どもゲームがおこなわれ、仲尾輪番による挨拶を合図に、いよいよ納涼盆踊り大会がスタート。雨のため、終了予定の8時より1時間早い終了となりましたが、すべてのイベントに多くのご参加をいただき、盛況のうちに大団円の景観授賞式となりました。



多くの方がつどったほんおどり。お祭りちょうちん、紅白幕、涼やかな浴衣姿、コスプレなどに境内が彩られた

ボーズチャレンジ 真剣にたのしむ

8月5日(土)と6日(日)の早朝、子ども向けお坊さん体験「ボーズチャレンジ」を開催しました。今年も2日間合計7名が参加されました。



仏飯器にご飯を山高に盛るのはけっこうむずかしい。お坊さんにコツを教わると、どんどん上手になりました

お給仕の仕事では、お坊さんに教わりながら楽しくお仏飯を盛りつけ、本堂の仏さまに心をこめてお供えしてくれました。お供え後のお経のお勤めは、すっかりお坊さんらしい真剣な表情になって臨んでいました。今回は来年の夏。またチャレンジしてくれる皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

ご法話



むなしくつむべるひょうごなまき 文：桐林一紀

本年5月9日、京都ご本山で厳修された「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」に帯広別院から団体でお参りさせていただきました。ウクライナ情勢、物価上昇、新型コロナウイルスなど、世情不安もあつた参拝旅行でしたが、参拝者一同しばらくぶりのご本山参拝に感銘を受けられたご様子でした。あらためて、混乱と不安の中にある私たちは、将来の子どもたちや孫たちにも、お念仏を生きる依り処にしていってほしいと気づくことができました。帯広別院では、来年5月19日にお勤めする「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」の準備を進めています。本堂大屋根の塗装および外壁塗装も始まりました。来年、皆さんにご法要をお勤めするのが楽しみです。来年5月、と言うとずいぶん先なのですが、先日、一人暮らしのご門徒さんに「一日は長く、時の経つのが遅いが、一年はあつという間に過ぎてしまつ」と言われて、妙に共感してしまいました。子どもの頃は、一年をとて長く感じていましたが、今は本当に早く感じます。一年があつという間に過ぎるように、あつという間に私の一生も過ぎていきはしないか。そんな虚しく一生を過ごしたくありません。一日一日を大切に過ごしたいものです。「本願力にあひぬれば むなしくつむるひとぞたまき 功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水へだてなし」本願力に出遇えたとき、そこからむなしく過ぎない歩みが始まります。

9月 オススメの一冊



『仏の発見』

著者 五木寛之 / 対話者 梅原猛 / 平凡社 刊 / 四六判282頁 / 1540円 (税込)

メキシコ本願寺の落慶法要にお参りされた現地の方が、どうして浄土真宗を信仰するのか尋ねられて、「キリスト教は、決して神になることはできない。仏教では私が仏になれる。素晴らしいことだ。こんな宗教は他にはない」と答えられたそうです。本書では作家と哲学者が、仏教の不思議について対話します。第一話はまさに「人が仏になる不思議」、最終話の第7話「悪をこえて仏になる不思議」へと続きます。読むのは苦手で……と思われる方にもやさしく、文字は大きめ、文章みじかめ、「北斎もトルストイも八十代が仕事のピーク」の見出しが踊り、年齢も気にせず読み進められる一冊です。(仲尾)